

白いごはん大好き

大手町小学校三年 米川 蒼

私は小さいころから、白いごはんが大好きです。家では、ほぼ毎食、白いごはんを食べます。私の家でもみんな、ごはんが大好きです。

ごはんを食べると、元気が出ます。学校では、あつい時も、さむい時も、一日元気でいられます。ロードレースで、三キロ走った時、朝、白いごはんを、たくさん食べたので、

かん走することが出来ました。ごはんのパワーはすごいです。

秋になると、新米が出ます。私は、新米を食べられる日が楽しみです。家では、お父さんの友だちの、農家をやっているおじさんの所から買います。おじさんは、朝早くから、天気の良い日も、あつい日も、おいしいお米ができるように、イネをそだてています。おじさんが、くろうして作ったお米の味は、あまくて、ぴかぴか光っていて、ごはんのいい

においがしておいしいです。

とくに、好きな食べ方は三つあります。

一つ目は、お茶づけです。急いでいる時や、つかれている時、家ぞくみんながねぼろした時にも食べます。

二つ目は、ごはんにのりをまいたり、かけたりして食べることです。どうしてかと言うと、のりの

ッパリッ

と言う音がいいし、ごはんのおいしさをひき

立ててくれるからです。

三つ目は、新せんなたまごで食べる、たまごかけごはんです。たまごと、おしょう油と、ごはんのあいしょうほとてもよくて、とんどんごんごはんがすすみます。

りよ行に行つて、ごはんを食べて感じたのは、やっぱり新がた卓のごはんはとてもおいしいと言ふことです。新がたのお米と、お母さんの作つてくれた大好きなおかすを、家ぞくみんなで食べる時が、とてもあわせです。